

F SPORT PARTS(TRD)

MS341-76001/2

フロントスポイラー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)フロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS341-76001-A1	ホワイト/ガラスレク (083)	CT200h F SPORT	ZWA10	'13.12 ~	
MS341-76001-C0	ブラック (212)				
MS341-76002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				

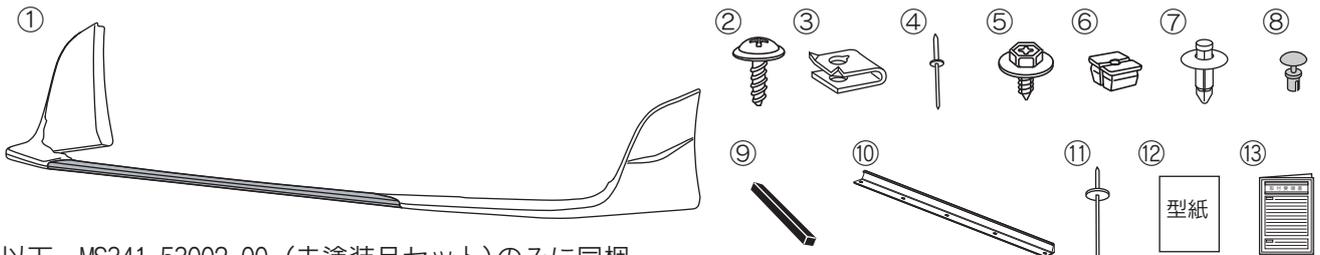
*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。
他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	フロントスポイラー		1	
②	タッピングスクリュー		2	5×16
③	Jナット		2	
④	リベット		7	黒色 小
⑤	タッピングスクリュー		4	6×16
⑥	グロメット		4	
⑦	クリップ		2	φ7用
⑧	クリップ		2	φ4用
⑨	エプトシーラー		2	L=100mm
⑩	フロントエアロスパッツ		1	L=600mm
⑪	リベット		5	シルバー色 大 フロントエアロスパッツ取付用
⑫	型紙		1	A4シール
⑬	取付・取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS341-76002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑭	モール		各1	黒/グレー L=650mm
⑮	モール		2	黒 L=400mm
⑯	PACプライマー		1	K-500
⑰	マスキングテープ		各1	LH/RH



以下、MS341-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

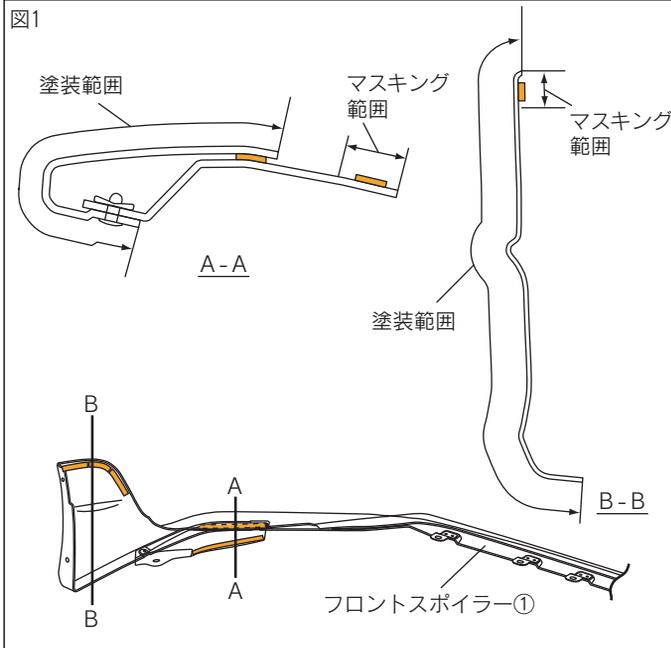
確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

確認 本商品は過去に事故歴のない車、事故歴があっても正常に修復された車には確実に装着出来ます。

-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各タッピングスクリューを十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、タッピングスクリューが緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けて下さい。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は本書を良くお読み頂き、注意・警告事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 未塗装品セット(MS341-76002-00)は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-76002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

1. 図1のようにフロントスポイラー①を塗装する。

2. 図2のようにフロントスポイラー①にマスキングテープ⑰を貼り、見切りラインを作る。
(左右各1箇所)

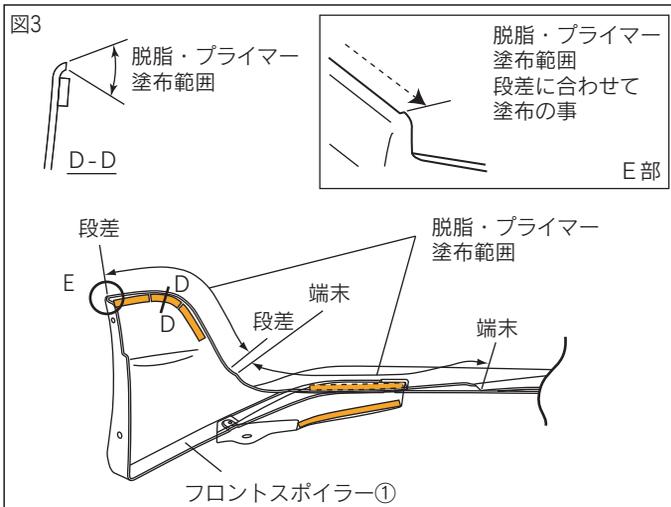
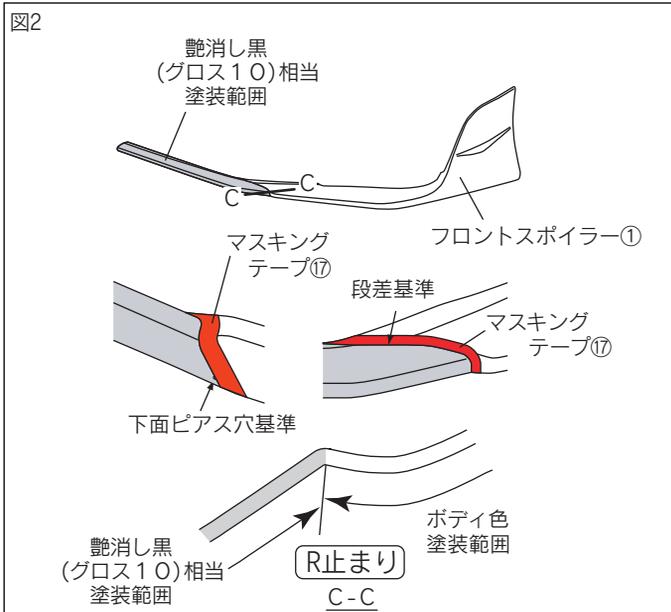
👉 アドバイス：マスキングテープ⑰は、丸い切欠きがあるほうがRHようです。

3. 2で貼り付けたマスキングテープ⑰にあわせてその他の部分をマスキングし、艶消し黒 (グロス10) 相当で塗装する。

⚠️ 注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

⚠️ 注意：モール貼り付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠️ 注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には十分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。



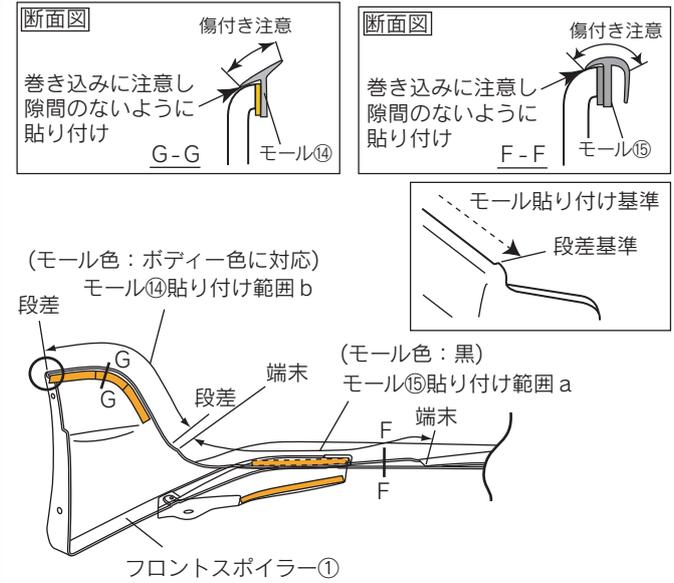
□モールの貼付け

1. 図3のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK-500⑱を塗布する。

⚠️ 注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残ると、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図4



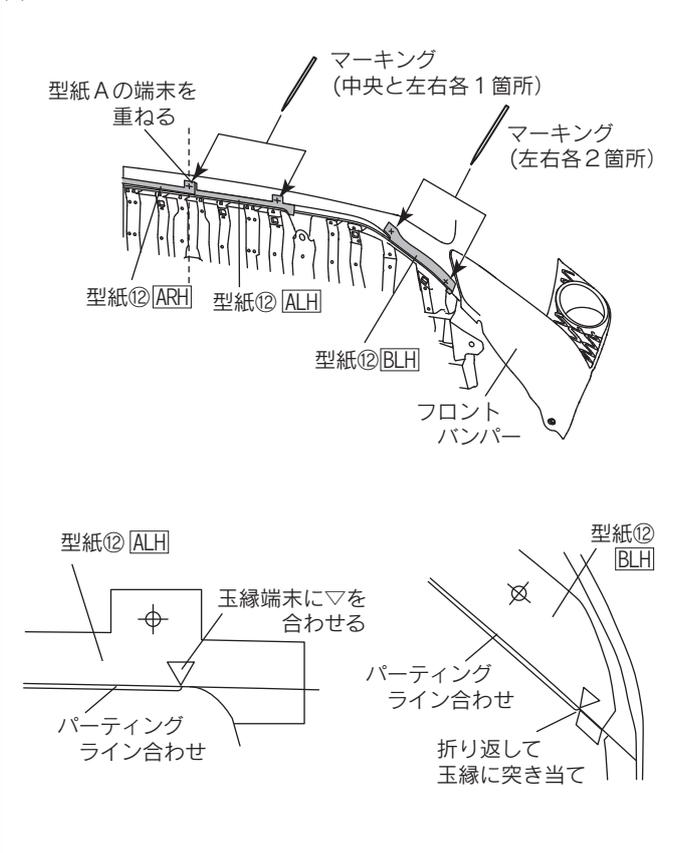
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

2. 図4のようにフロントスポイラー①に、モールド⑭⑮の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

アドバイス：モールドは、二色同梱されています。貼り付け範囲 a にはモールド⑮を、b には塗装色に合わせたモールド色を選択し、モールド⑭を貼付けてください。

注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

図5

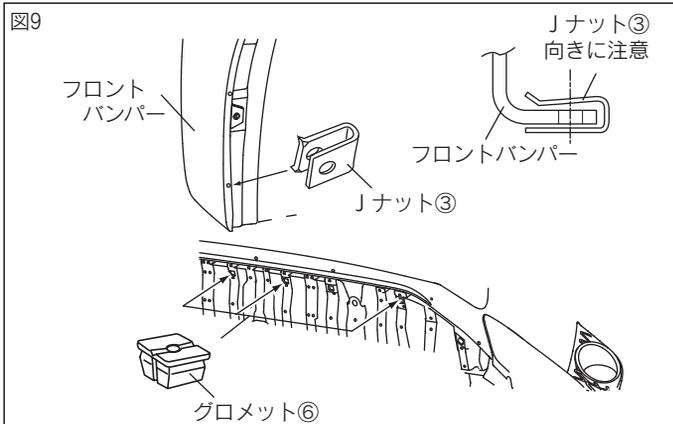
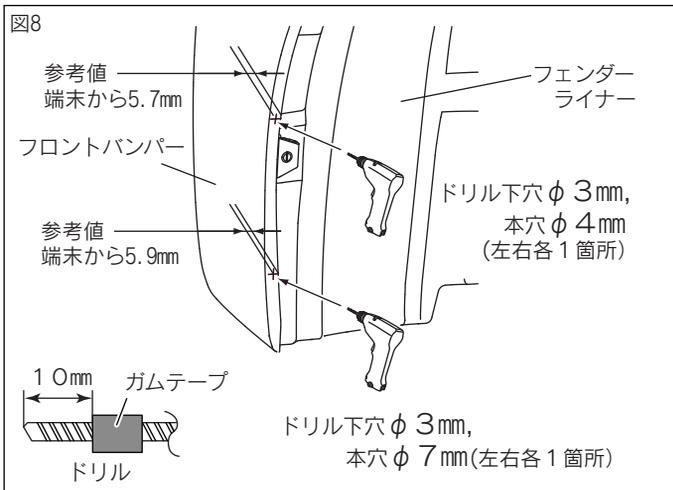
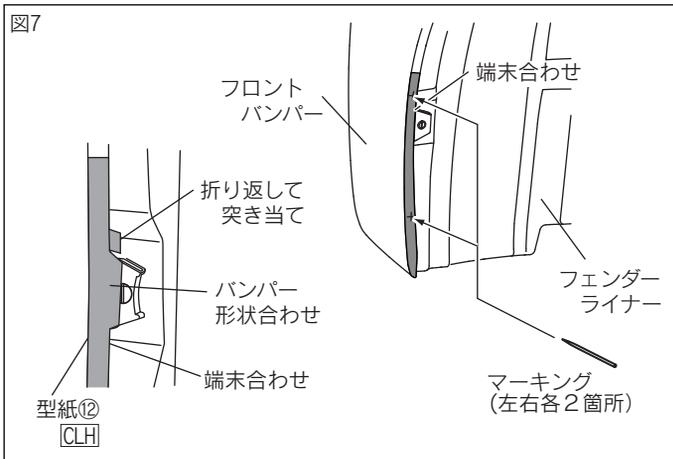
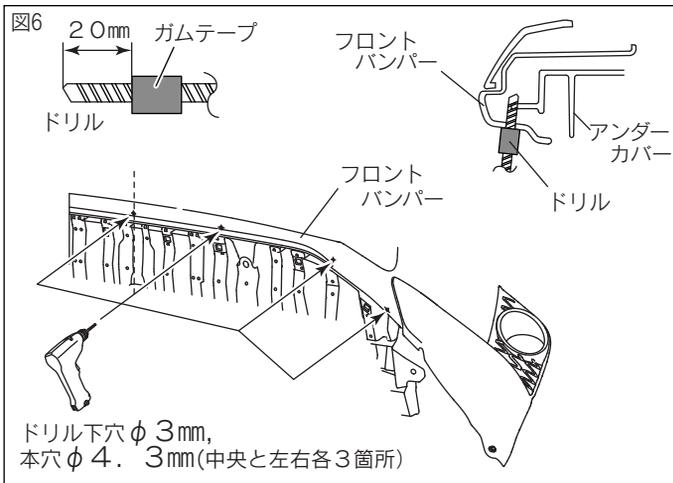


取付準備

1. 型紙⑫ ALH BLH を台紙から剥がし、図5のようにフロントバンパーの下面部に貼り付けマーキングする。
(中央と左右各3箇所)

注意：型紙Aの末端がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼り直してください。

アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、フロントスポイラー①を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

2. 型紙⑫ [ALH][BLH]をフロントバンパーから剥がし、図6のようにφ3mm、φ4.3mmのドリル先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻き付け、φ3mmのドリルを使用してフロントバンパー下部のマーキング位置に下穴をあける。
(中央と左右各3箇所)
3. 図6のように下穴にφ4.3mmのドリルでアンダーカバーとともに本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(中央と左右各3箇所)

△注意：本穴をあける際に、アンダーカバーまで穴あけをしないとリベット④が取付けられなくなります。

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

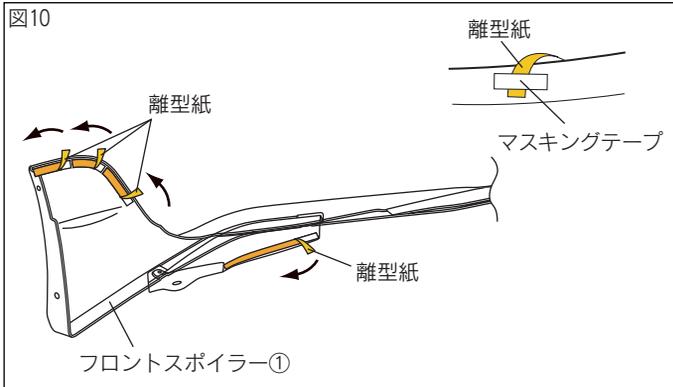
△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

4. 型紙⑫ [CLH]を台紙から剥がし、図7のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼り付け、マーキングする。
(左右各2箇所)
5. 型紙⑫ [CLH]を剥がし、図8のようにφ3mmφ4mm、φ7mmのドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻き付け、φ3mmのドリルを使用してフロントバンパーホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(左右各2箇所)
6. 図8のように下穴に上側をφ4mmで、下側をφ7mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(左右各2箇所)

7. 図9のように本穴をあけた下側に、Jナット③を差し込む。
(左右各1箇所)

△注意：図9のようにJナット③の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとフロントスポイラー①が取り付けなくなります。

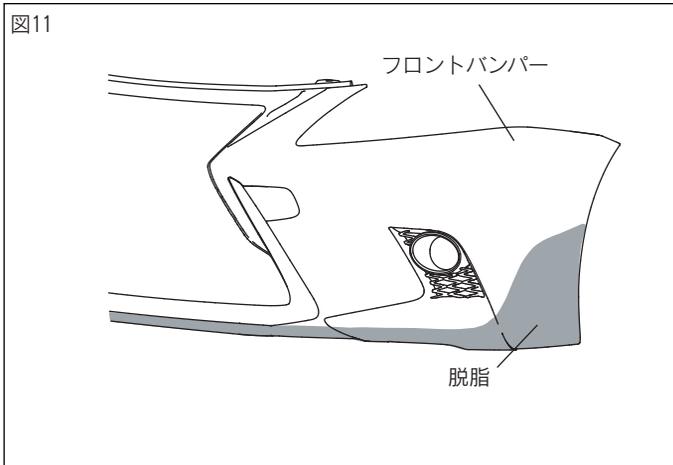
8. 図9のようにフロントバンパーのアンダーカバーの四角穴にグロメット⑥を差し込む。
(左右各2箇所)



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

9. フロントスポイラー①の両面テープの離型紙を、図10のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各4箇所)

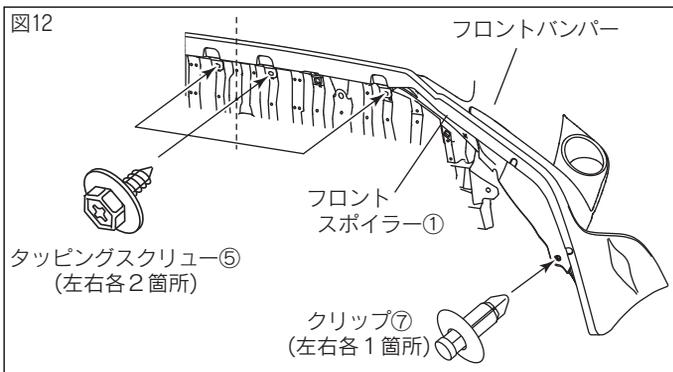
△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。



10. 図11のようにフロントバンパーのフロントスポイラー取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

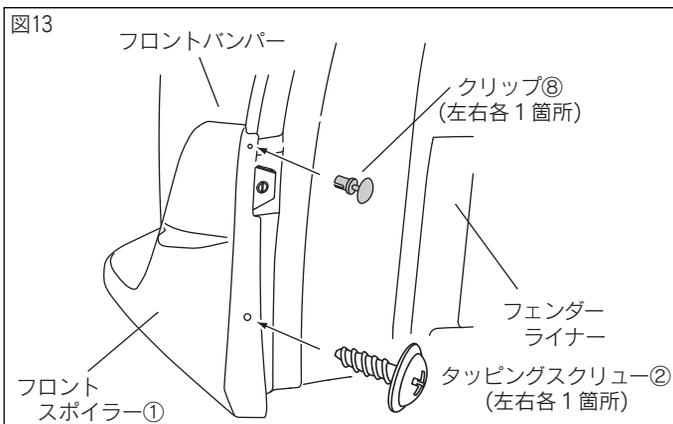
△警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

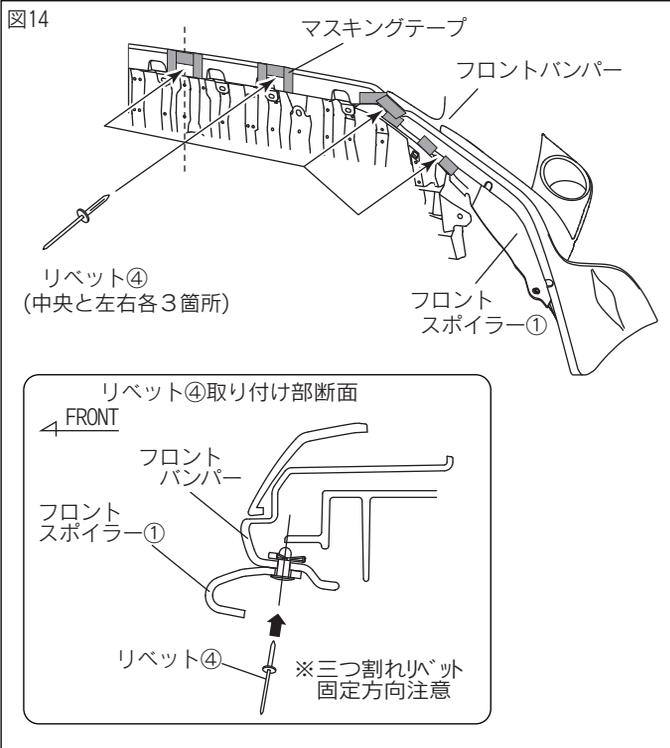


□取付要領

1. 図12のようにフロントバンパーにフロントスポイラー①を合わせ、下面をクリップ⑦で固定し、タッピングスクリュー⑤を仮締めする。
(左右各2箇所)



2. 図13のようにホイールハウス部の上側をクリップ⑧(左右各1箇所)で固定し、下側をタッピングスクリュー②(左右各1箇所)で仮締めする。

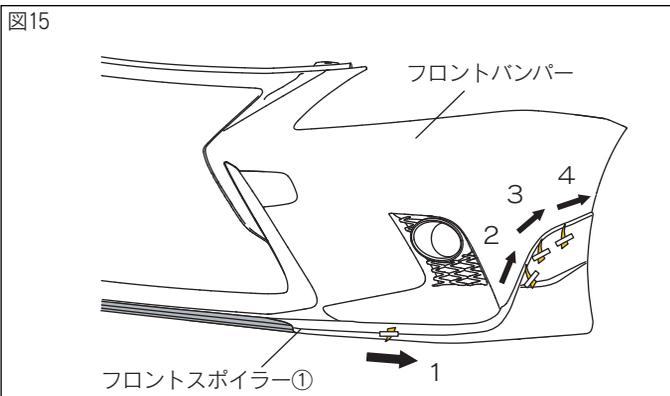


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示してあり、RH側も同様に行ってください。

3. 図14のようにリベット取り付け部周辺のフロントバンパー及びフロントスポイラーをマスキングテープ等でマスキングし、リベット④を取り付ける。(中央と左右各3箇所)

△注意：マスキングをせずにリベットの取り付けを行うと、フロントバンパー及びフロントスポイラーを傷付ける可能性があります。

4. マスキングを剥がす。



5. 図15のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙(左右各4箇所)を図の番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。
{49N(5kgf)以上}

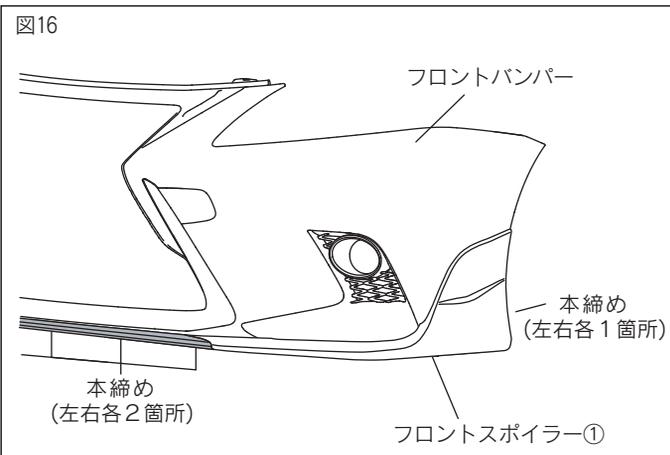
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図17で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

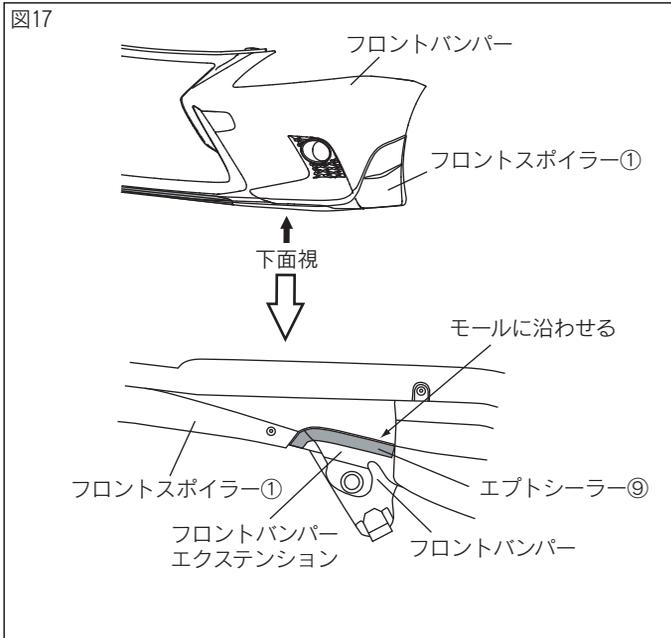
△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



6. 仮締めしているタッピングスクリュー②を(左右各1箇所)タッピングスクリュー⑤を(左右各2箇所)本締めする。

図17



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

7. 図17のように、フロントバンパーエクステンション下面部のクッション⑨貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

8. 図17のように、製品末端に沿ってフロントバンパーエクステンション下面部にエプトシーラー⑨を貼り付ける。

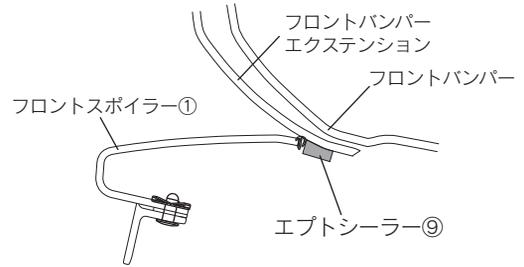
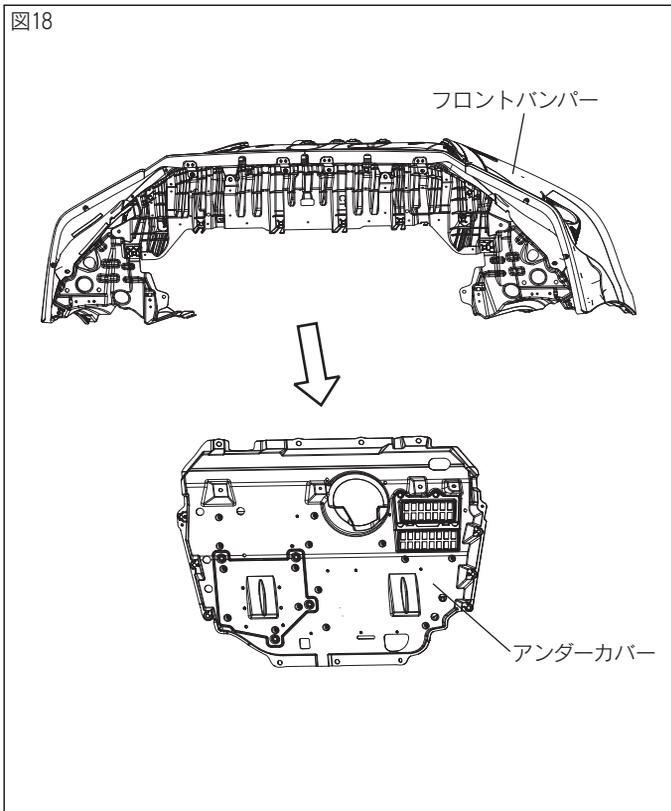
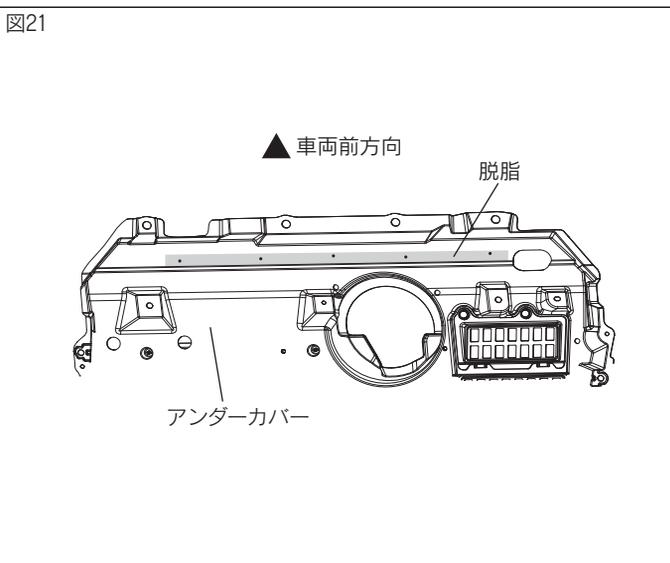
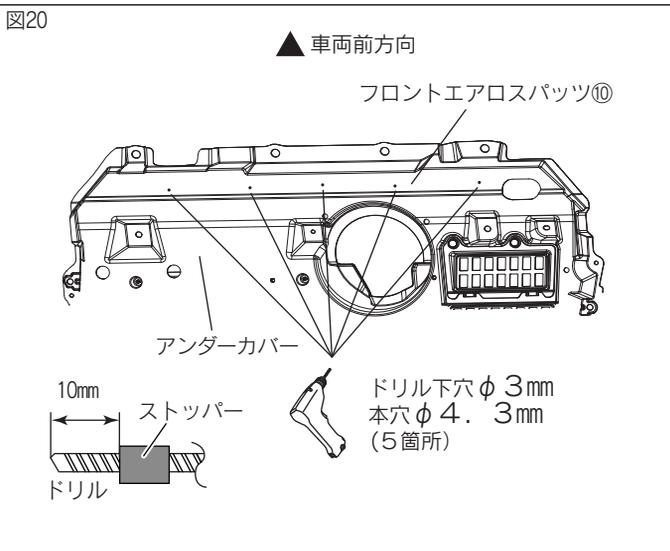
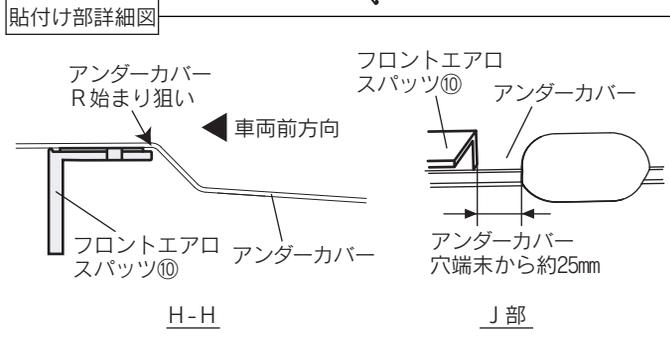
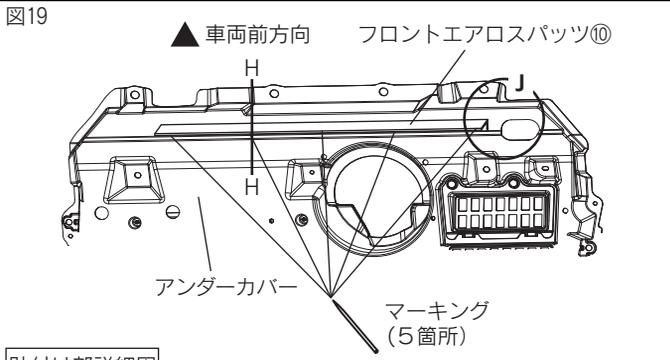


図18



□フロントエアロスパッツの取り付け

1. 車両修理書を参考にして、車両からアンダーカバーを取り外す。



2. 図19を参考に、取り外したアンダーカバーにフロントエアロスパッツ⑩を仮当てし、穴位置をマーキングする。(5箇所)

3. 図20のようにφ3mm、φ4.3mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してマーキング位置に下穴をあける。(5箇所)

4. 図20のように下穴にφ4.3mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(5箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

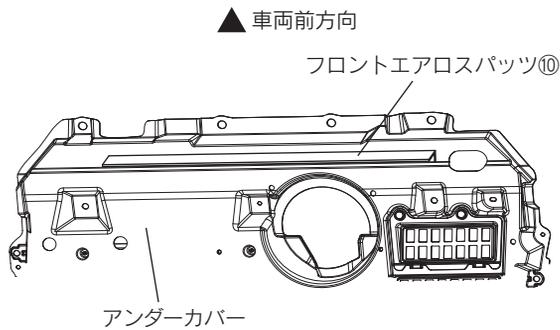
⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

5. 図21のようにアンダーカバーのフロントエアロスパッツ⑩取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠️ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、10分以上乾燥させてください。

図22



6. 図20を参考に、図22のようにアンダーカバーにあけた穴にフロントエアロスパッツ⑩合わせ、位置ズレが無いことを確認し、フロントエアロスパッツ⑩の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。
{ 49N (5kgf) 以上 }

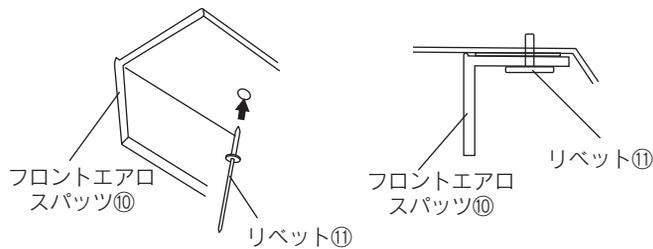
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にして下さい。

△警告：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

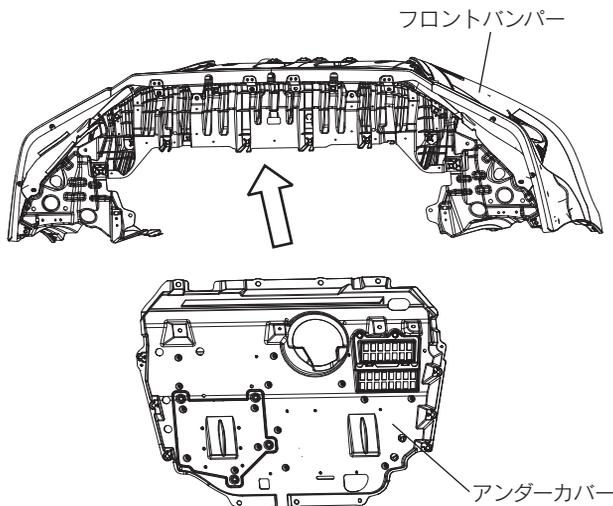
△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図23



7. 図23のように、アンダーカバーとフロントエアロスパッツ⑩の穴にリベット⑪を差し込み固定する。(5箇所)

図24



8. 車両修理書を参考にして、アンダーカバーを取り付け、車両を復元する。

■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー・クリップ・リベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. フロントエアロスパッツがリベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
3. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
4. 製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。